

動物用医薬品

IDEXX

体外診断用医薬品

犬特異的リパーゼ検査用キット

## スナップ<sup>®</sup>・cPL

スナップ<sup>®</sup>・cPLは、犬血清検体中の特異的リパーゼを抗原として検出する酵素免疫測定法を用いたキットである。本キットは、膵炎の犬の循環血中に漏出した膵リパーゼ免疫活性(cPLI)を検出する。

### 一箱の構成

本キットはデバイス、コンジュゲート、サンプルバイアル、トランスファーピペットからなる。コンジュゲートには西洋ワサビ由来ペルオキシダーゼ(HRPO)標識抗犬特異的リパーゼ抗体が、デバイスには洗浄液、TMB溶液が含まれる。

本キットは定められた以下の注意、保存方法、使用方法、判定方法をかならず守ってご使用ください。

### 一般的注意

- 1 定められた使用方法を厳守すること。
- 2 使用目的において定められた目的にのみ使用すること。

### 使用時の注意

- 1 キットは事前に室温に戻しておくこと。加温しないこと。
- 2 検体は血清を使用し、血漿や全血は使用しないこと。
- 3 検査ごとに新しいサンプルバイアルおよびピペットを用いること。
- 4 デバイスは使用するまでアルミホイル製の袋から出さないこと。
- 5 使用前にアクティベーターを押さないよう注意すること。また、検体を加える前にアクティベーターを押してしまったデバイスは使用しないこと。
- 6 検査中は常にデバイスを水平に保つこと。
- 7 アクティベーターを押したデバイスは強い光にさらさないこと。
- 8 本キットの結果のみを用いて膵炎の確定診断としないこと。膵炎の診断に当たっては、本キットの判定結果と臨床症状、その他の検査結果を総合して判断すること。また、サンプルスポットの発色がコントロールスポットの発色と同程度の場合は、特に慎重に判断すること。

### 取扱い上の注意

- 1 外観又は内容に異常を認めたものは使用しないこと。
- 2 使用期限が過ぎたものは使用しないこと。
- 3 異なる製造番号の試薬を組み合わせ使用しないこと。
- 4 検査時には手袋を着用するなど、検体の取扱いには十分に注意すること。
- 5 使用済みのデバイス等は、地方公共団体条例等に従い処分し、作業終了後には作業場所をきれいに消毒すること。

## 保管上の注意

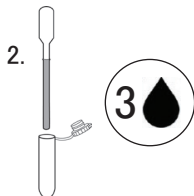
- 1 直射日光又は冷凍は品質に影響を与えるので、避けること。
- 2 小児の手の届かないところに保管すること。

## 保存方法

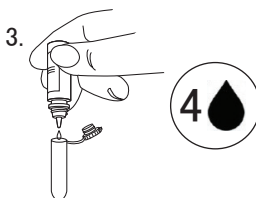
キットは2-8℃で保存すること。

## 使用方法

- 1 あらかじめ、デバイスとコンジュゲートは室温(15-30℃)に戻す。
- 2 付属のピペットを用いて検体(血清)3滴をサンプルバイアル(以下バイアル)に分注する。
- 3 コンジュゲートの入ったボトルを垂直に保ちながら、バイアルにコンジュゲートを4滴加える。



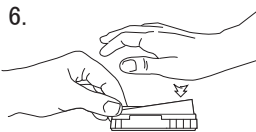
- 4 バイアルのふたを閉め、3-5回の転倒混和によりサンプルを良く混ぜ合わせる。



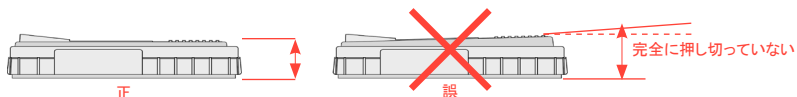
- 5 デバイス本体を水平に置き、バイアル中の検体全てをサンプル注入口に注ぐ。サンプルは反応膜を横切りアクティベートサークルの方向に流出する。



- 6 サンプルがアクティベートサークルに達したら、完全に青色になる前にアクティベーターを押す。通過するのを待たないこと。このときアクティベーターが本体基底部と水平になるまで完全に押し下げること。



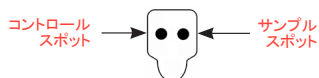
※60秒経過後もアクティベートサークルにサンプルが達しない場合には、サンプルが反応膜を通過した時点でアクティベーターを押す。



- 7 10分後に判定を行う。

## 判定方法

反応膜のサンプルスポットとコントロールスポットの発色度合いを比較することにより、正常か高値かのいずれかの判定を行う。



### 正常

サンプルスポットの発色がコントロールスポットよりも薄い場合。  
(サンプルスポットは発色しない場合もある)



### 高値

サンプルスポットの発色がコントロールスポットと同程度又は濃い場合。

※サンプルスポットの発色がコントロールスポットの発色と同程度の場合は、特に慎重に判断すること。



### 判定保留

注: 判定保留の場合には再検査を行う。

- バックグラウンドが発色し、結果判定が困難な場合。
- コントロールスポットが発色しない場合。

膝炎の診断に当たっては、本キットの判定結果と臨床症状、その他の検査結果を総合して判断すること。本キットの結果のみを用いて膝炎の確定診断としないこと。

## 試験成績例

Spec cPLを用いて膝特異性リパーゼ濃度を測定した犬血清検体を、スナップ・cPLを用いて測定し、それぞれ「正常」又は「高値」の目視判定を行う。1検体につき、1人の測定者が1日に10測定、計3日間試験を実施した試験成績を以下に示す。

Spec cPL で測定した cPL 濃度(µg/L)	スナップ・cPLにおける試験成績				
	予測される 判定結果	スナップ・cPLでの判定結果			
		Day 1	Day 2	Day 3	計
52	正常	10/10 正常※	10/10 正常	10/10 正常	30/30 正常
120	正常	10/10 正常	10/10 正常	10/10 正常	30/30 正常
337	高値	10/10 高値	10/10 高値	9/10 高値	29/30 高値
561	高値	10/10 高値	10/10 高値	10/10 高値	30/30 高値
1000	高値	10/10 高値	10/10 高値	10/10 高値	30/30 高値

※10/10 正常:10測定中10回を「正常」と目視判定

IDEXX テクニカル サポート

日本 0120-71-4921 ▪ アメリカ/カナダ 1-800-248-2483 ▪ ヨーロッパ idexx.eu  
オーストラリア 1800-655-978

# IDEXX

**製造販売元**

アイデックス ラボラトリーズ株式会社  
東京都杉並区和泉 1-22-19

**製造元**

アイデックス ラボラトリーズ  
米国メイン州

\* スナップ、スナップ・cPL および Spec cPL は米国および／または他国における  
IDEXX Laboratories, Inc. の商標または登録商標です。

©2017 IDEXX Laboratories, Inc. All rights reserved. • 06-0001551-02